



日本に活力を

理事長 皆川 正一

謹賀新年

新しい年を迎え、今年こそ具
体的な基本政策のもと、
社会に通じる教育の
再編も必要であると
感じます。



七十年前。
十二歳だった少年は、親に内
緒で中等学校の入学試験を受
けました。合格はしたものの案の
定、父親に叱られ大反対された
のです。「学校よりも働け」と。
少年は三日間、布団の中で泣き
ました。そして心に決めた事は
『負けるものか。努力即運命』
です。

失業対策、教育、経済等々
変動する社会を予測して行動
する。汗を流し努力する。今、
たくましく柔軟な心を養う事が
求められていると思うのです。

皆様の「ご多幸を

お祈りいたします

本年も宜しく

お願い致します



ご長寿 "笑顔" のひけつ インタビューしました

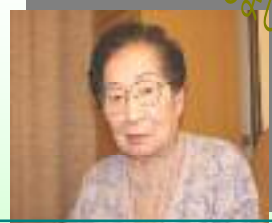
介護士 満間 美奈子



石井 しげ様
家族がみんな
仲良くい事



重原 春代様
楽しいことを
考える



山中 しも様
人との付き合いを
大事にする事

デイサービスセンター



ペロッと
食べちゃうぞ~!!!!



利用者の皆
様からも、
甘くて
美味しい
と大好評で
した。

手も顔も
真っ黒だよ



ききました。
提供させて頂
して、おやつに
芋を焼き芋に
育てたさつま
ダイの畑で
十一月末に、

焼き芋会

介護士 加来 陽介

地域包括支援センター

今年も宜しくお願ひします
地域包括支援センター 最上 尚人

あけましておめでとうござい
ます。昨年も当センターの活動
にご協力頂き、ありがとうございます
でした。



地域の方々が
安心して暮らせるよう
支援しています
地域包括支援センター

地域の方々の様々な相談や
老人会等グループへの講話も行
っておりますのでご利用下さい。

今年も

地域のための

地域包括センター

を目指して活動を続けて行き
ますので、宜しくお願ひ致しま
す。





三恵苑施設長

皆川 正好

明けまして

おめでとーございませす

昨年は沢山の方々にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。本年もよろしくお願ひ致します。



何といつても

「新型インフルエンザの流行」でしょう。お年寄りをお預かりしている施設にとつて、戦々恐々の一年でした。幸いな事に入居者二百六十名のお年寄りは無事に年を越す事ができました。この事は一重に職員意識の高揚の賜物と思つています。



もう一つの話題として「職員給与の改善」と云う事でしょう。

社会福祉法人

組織ではありませぬ。その分を職員給与に反映し、より良い職員を育てていく必要があると思つています。

人は組織の要ですから。

好きなおせち料理



介護士 町田 純子

自分で作れる物はすべて手作りしたそうです。

中野知(とも)さんに現役主婦時の話を伺いました。

好きなおせち料理はなんですか？

1. だてまき
2. こぶまき
3. かずのこ



利用者さんに伺いました。

佐藤 新米 町田 新聞委員



私達が訪ねた際には、いろいろとお話聞かせて下さいね。

おせちは十二月二十六日頃から作り始め、日持ちする物から作りませす。中でも**金平ごぼう**は**小魚を入れる**といつこだわりがあつたそうです。今では、家に帰る時など息子さんが知さんの好きな物を作ってくれるんです。

嬉しそつに話されてました。

特別養護老人ホーム三恵苑

正月の遊び・過ごし方



介護士 佐藤 謙

よくやった遊びはなんですか？

1. はねつき
2. かるた取り
3. ベーゴマ



「たこあげもやったなあ」

昔は雪が多く見られたので、**かまくら**を作つたり、**雪合戦**をしたりと雪遊びも楽しんだそうです。

「お正月の楽しみ方としては、勉強好きだから、勉強してた」といふ方もいました。が、カラオケをしたり、こたつに入っていたりと、のんびりと過ごされたようです。



三恵苑ご利用の皆様からたくさんの「これ、おいしい！」という料理を教えてくださいシリーズでお届けします

コーナー 三恵苑だより

お正月に作る料理

松前漬け

1. 乾物のこんぶ スルメイカをハサミで細く切る。
2. 人参・ごぼうを細切りにする。
3. 1. 2を醤油・砂糖・みりん・酒で混ぜあわせる。
🍴 粘りがでたら出来上がり



なます



1. 人参・大根を千切りにする。
2. 塩をふってしんなさせる。
3. もんで水洗いし、甘酢に漬けて出来上がり。



良薬は笑い

富士見園園長 石川健嗣

今年(寅年)は寅と言えれば皆さんご存知、「フーテンの寅さん」を思い浮かべる。お正月映画の定番で昭和四十四年から平成七年の間に全四十八作が上映された。物語は至って単純、寅さんが突然故郷、葛飾柴又に戻ってきては大騒ぎを起し、またふと旅に出る。毎回登場するマドンナに恋をして失恋を繰り返す人情喜劇である。お正月早々寅さんの名台詞で何度大笑いしたことか。ところで昔から笑う事は健康に良い影響を及ぼすと言われているが、何故健康に良いのであるのか。その「笑いを遺伝子レベルで研究している教授がいる。教授は笑いが遺伝子の働きを変えるのだと説明してくれた。しかしまだまだ科学的な証拠が乏しく明確に説明されてはいない。近い将来、笑いと健康の関係が科学的に解明される事になれば、病院で薬の代わりに「お笑いビデオ」が処方される事になるかも知れない。今年一年、笑いの絶えない幸せな年で有ります様に。本年も宜しくお祈り致します。



養護老人ホーム 富士見園

喫茶さくら

生活相談員 原田好行

毎月、月末になりますとボランティア「シャランティ」さんの御協力を得ましてホーム喫茶「さくら」を営業します。コヒートの香りに誘われてか、開店前に行列ができるほどの大盛況です。お酒を飲んで

いる方、甘い物を食べている方、皆さん会話や笑顔が絶えません。これからも皆さんに喜ばれる喫茶さくらを続けていきたいと思ひます。



目玉商品

- シュークリーム
- ショートケーキ
- 豆大福
- 磯辺団子
- ところてん 等



麺類組合訪問

支援員 長澤圭司

十二月八日、大宮麺類組合の武市久雄組合長さん始め、八名の組合員の方々が来園されボランティアで、一足早い年越しそばを振る舞って頂きました。冷・温のそばうどんがいっぱい用意され、皆さん大喜び。「こんなにおいしいのが食べられるのなら毎月、年末でもいいわ」とおかわりされる方もいらつしやいました。



ヘルパーステーション

よりよいケアを!

ヘルパー 塩田陽子

私達、訪問ヘルパーの仕事をご紹介します。

身体介護

入浴介助、清拭

着脱介助、排泄介助
おむつ交換 などなど...



生活援助

調理、買い物
洗濯、掃除 など!



このように在宅生活の中で介護が必要な方の支援をさせていただきます。利用者さんが安心して日々の生活を快適に過ごせますように。そして感謝の気持ちを忘れず、より良いケアを心掛けていきたいと思っております。

本年も

宜しくお祈り致します。

一期一会

ひかわ施設長 仁木 甲之

あけまして
おめでとございます

皆様におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、人と人との出会いは、様々な場面に存在しています。これまでも皆様お一人おひとりが多くの出会いに喜び、驚き、泣いたり笑ったりしたことと思います。ひかわの三年間を振り返ってみると、利用者様と職員との出会いも、その一つです。これは大変嬉しい出会いだったと自負しておりますが、いかがでしょうか。さらに平成二十二年はどんな出会いが待ち受けていることでしょうか。今年は何と人との出会いを一層喜び、楽しみたいものです。これから



「当たり前前の生活」
の実現に向かって。

特別養護老人ホームひかわ

3階大運動会

ユツトリーダー 北條 彰

三階フロア全体での初の試みとなる大運動会をデイホールにて開催しました。

会場に着いた利用者様達はゲート型の入場門にワクワクされながら入場されました。



ユツト対抗の中で、一番の盛り上がりを見せた種目が

玉回しです。

利用者様と職員が一丸となってボールを隣の方に渡し、ゴールを目指す競技。最後は、職員がゴールまで運ぶのですが途中で勢いあまって、転んでしまう職員が続出！その姿に利用者様は大笑い

「あらら」「わっはっは」



笑いの絶えない大運動会。毎年の恒例行事になりそうな予感です。

六月に植えたサツマイモの苗を十月末に収穫しました。

その際一番奮闘されていた四階ユツトの古指峻作様に直撃！

直撃！インタビュー



芋掘りのご経験は？
五十年振り位かなあ？

随分気合が入っていましたね。毎日、部屋から畑を見ていましたよ。長靴が見えた日には、いよいよだな！と。

かなりの興奮振りが伺えますが実際にやってみてどうでした？

気を付けていたんですが、最初に掘った一本を傷付けてしまつて、非常に悔しかったです。でも、いい芋がたくさん獲れましたよ。今度は、苗植えから草取り、そして収穫と頑張りますからね！

古指さん、非常に頼もしいお言葉ありがとうございます。春が待ち遠しいですね。

事務員 兵藤 真弓

在宅介護支援センター

よりどり

センター長 宮本 好彦

あけましておめでとうございます。皆様も新しい年を清々しくお迎えのことと存じます。

祭りの好きな私は、このころ様々な祭礼の起源などが書かれた書物を読んだり、地方のお祭り見物に出掛けたりしています。お正月は「歳神様」を祀る国民最大のお祭り。その歳神様(トシ)の魂(タマ)をご利益として分配するから「お年玉」、依代としての松飾は神様を門でお待ちして迎えるから「門松」だとか。いわれも知らず自分に浸透していた習慣ですが、それを知ってなお心地よく感じました。

依代よりしろが立てられるほどのものは

ありませんが、当在宅介護支援センターは地域の拠り所として、皆様に担ぎ上げて頂きたい。本年も頑張ります。

わっしょい！



社会福祉法人 三恵会
三恵会だより第三十三号
平成二十二年一月一日